

作成日 2024 年 1 月 8 日
(最終更新日 2024 年 1 月 8 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2023-1-886

課題名 : 新生児脳 MRI を用いた早期発症型胎児発育不全児の脳形態的特徴と長期発達予後予測因子の解明:過去起点コホート研究

1. 研究の対象

東北大病院総合周産母子医療センターで 2017 年以降に妊娠 32 週未満で出生し、新生児集中治療室に入院期間中に頭部 MRI 検査を受けられ、かつ「東北大学病院で出生した出生体重 1,250 g 未満児の長期予後の検討」に参加したお子様。

2. 研究期間

2024年1月（研究実施許可日）～2028年12月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2024 年 2 月 28 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

早産児の頭部 MRI を用いて脳構造物の容量を解析することで、5 歳、8 歳時の発達予後予測が可能かを検証いたします。

5. 研究方法

東北大病院総合周産母子センターで生まれたお子さんの診療録の情報（脳 MRI 検査や、当センターにおける先行研究「東北大学病院で出生した出生体重 1,250 g 未満児の長期予後の検討」によって得た発達検査の結果など）によって解析する、侵襲および介入を伴わない観察研究となります。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報 : 周産期歴、新生児集中治療室での入院後経過、MRI 検査結果、先行研究「東北大学病院で出生した出生体重 1,250 g 未満児の長期予後の検討」によって得られた発達検査結果

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は日本学術振興会の科学研究費補助金（科研費）です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学 総合周産期母子医療センター 埴田卓志
住所：仙台市青葉区星陵町 1-1 総合周産期母子医療センター
連絡先：022-717-7287
takushi.hanita@gmail.com

当院の研究責任者：東北大学 総合周産期母子センター 埴田卓志

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合